

治水

発行所

全国治水期成同盟会連合会
東京都千代田区平河町2-7-5(砂防会館内)

編集人 川野正隆

印刷所 株式会社 白橋印刷所
会 員 (定価 1 部 100 円)

その他 一般 (定価 1 部 150 円)

毎月 1 回 15 日 発行

7月7日は
川の日です

清らかなこの水は
守るべきみんなの宝物
大切なこの豊かな川は
暮らしの中の
かけがえのない宝物
いつの時代も流れ続ける
ひとりひとりの宝物

宝く自然 物れたが たが

7/1~7/31

水辺にやすらぎ ところにゆとり

河川愛護月間

■主催：国土交通省／都道府県／市町村 ■後援：内閣府／日本放送協会／(社)日本新聞協会／(社)日本民間放送連盟 ■協賛：(社)日本河川協会／全国治水期成同盟会連合会
全国水防管理団体連合会／(社)建設広報協議会／(財)河川環境管理財団／(財)河川情報センター／(財)リバーフロント整備センター／(財)河川環境水質アクリメーション振興財団／全国建設弘済協議会

平成15年度「河川愛護月間」実施要綱

1. 目 的

この運動は、身近な自然空間である河川への国民の関心の高まりに応えるため、地域住民、市民団体と関係行政機関等による流域全体の良好な河川環境の保全・再生への取り組みを積極的に推進するとともに、国民の河川愛護意識を醸成することを目的とする。

2. 期 間

平成15年7月1日(火)から7月31日(木)まで

3. 主 催

国土交通省、都道府県、市町村

4. 後 援

内閣府、日本放送協会、(社)日本新聞協会、(社)日本民間放送連盟

5. 協 賛

(社)日本河川協会、全国治水期成同盟会連合会、全国水防管理団体連合会、(社)建設広報協議会、(財)河川環境管理財団、(財)河川情報センター、(財)リバーフロント整備センター、(財)渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団、全国建設弘済協議会

6. 運動の重点

- 地域と一体となった良好な河川環境の保全・再生
- 川との関わりの再構築
- 地域社会と河川との関わりの再構築
- 河川愛護意識の醸成
- 河川の適切な利用の推進

7. 推進標語

「水辺にやすらぎ 心にゆとり」

8. 実施要領

河川管理者は、地域住民、市民団体、関係行政機関等と協力し、この月間中に、河川愛護の意識が広く国民で醸成されるよう、次に掲げる活動及び地域の実情に応じた多様な活動を積極的に展開するものとする。

(1) 地域と一体となった良好な河川環境の保全・

再生

イ. 良好な河川環境の保全・再生

良好な河川環境を保全・構成するため、地域住民、市民団体等が主体となって行う河川環境の保全・再生等に関する活動を積極的に支援する。

ロ. 河川の美化

月間中に「川のクリーン作戦」等を企画し、河川に関わる市民団体、町内会等と協力しつつ、堤防、河川敷等に廃棄された紙くず、空き缶等の一斉清掃等を行う。

(2) 地域社会と河川との関わりの再構築

イ. 地域住民、市民団体等と協力した河川の点検等

すべての人々に親しみやすい河川空間にするため、地域住民、市民団体等と河川管理者が協力して、川へのアクセスや利用について点検する機会を設け、今後の川づくりに反映させる。

ロ. 水面の利用、川下り等

多くの河川で、カヌー、ボート、イカダ等による河川の水面利用が行われるようになってきている。地域住民、市民団体等による河川の水面利用を体験する活動を支援するとともに、河川の水面利用の安全点検を河川利用者と河川管理者が協力して行う。

ハ. 川の指導者等の人材育成の支援

川に対する基本的な知識、川での様々な遊び、地域の歴史・文化等を教えることのできる「川の指導者」等の人材を育成し、それぞれの地域で子供に対して川での遊び方を教える活動等を支援する。

ニ. 河川に関する地域住民等とのコミュニケーションの充実

河川は、地域の水循環の主軸で、地域の文化、風土等とのつながりを有している。この

ため、川や流域に係る「川の365日」の情報
の積極的な提供に努め、関係機関や地域住民、
市民団体等とのコミュニケーションの充実を
図る。

(3) 河川愛護意識の醸成

イ. 河川についての広報活動の実施

報道関係機関等の協力を得て、積極的に河
川に関する広報活動を行う。

広報誌、折り込み、スライド、ポスター、
ステッカー等を活用し、この月間の趣旨の地
域住民、市民団体、河川利用者等への浸透を
図る。

ロ. 河川愛護団体の支援等

河川愛護団体への支援に努め、必要に応じ
て表彰等の措置を講じ、河川愛護意識の醸成
を図る。

なお、みどりの愛護功労者国土交通大臣表

彰に推薦されるよう積極的に努めるものとす
る。

ハ. 各種イベントの開催

7月7日が「川の日」であることも踏まえ、
「川の日」と連携した講演会、シンポジウム
等を積極的に開催するほか、河川に関する写
真、絵画、作文等のコンクールを開催し、優
秀作品は表彰、展示を行う等により、河川愛
護意識の醸成を図る。

(4) 河川の適切な利用の推進

イ. 関係行政機関が共同して河川のパトロール
を実施する等、河川利用者等に対し、河川の
適切な利用に関する指導等を行う。

ロ. 地域において、住民の日常的な河川空間の
利用が促進され、地域づくり、まちづくりに
おいて活かされるよう関係機関との連携の強
化を図る。

7月7日は『川の日』

『川の日』フォーラム プログラム

と き：平成15年7月7日(日)

と ころ：千代田放送会館(東京都千代田区紀尾井町1-1)

13時00分 開場・受付

13時30分 開 会

主催者挨拶

来賓祝辞

13時40分 パネルディスカッション

タマちゃんも棲める川づくり～いま、川の水質を考える～

…パネリスト…

真柄 泰基 北海道大学大学院教授

松井 三郎 京都大学大学院教授

須知 裕曠 ふるさと都・夢づくり協議会会長

岸 ユキ タレント

鈴木藤一郎 国土交通省河川局長

…コーディネーター…

齋藤 宏保 NHK 解説主幹

15時40分 終了予定

平成15年度河川愛護月間における主な行事予定

地区	主催者	行事名	実施月日	場所	内容	参加予定人数	後援(予定)	協賛(予定)
北海道	豊平川リバーフェスティバル実行委員会	豊平川リバーフェスティバル	7月27日	豊平川河川緑地	水環境コーナー、河川愛護月間PRコーナー、リバーアート展示、クレーンアープ作戦その他各種イベントを実施予定。	約30,000人	札幌市教育委員会、札幌市PTA協議会、北海道放送、外	なし
	夢未來網走	あばしりかわわたたさい2003 網走川祭	7月6日～7月26日	網走川左岸(水辺プラザ整備箇所)	網走川スケッチ大会、カヌー体験教室、川の水生生物展、水上川みこし、川祭り、花火大会等を実施予定。	約10,000人	網走開発建設部、北海道網走市、商工会議所、観光協会、マスコミ各社	北海道電力(株)網走ボート協会
東北	山形県、市町村	きれいな川で住み良いふるさと運動「県民河川海岸愛護デー」	7月6日	各市町村が選定した河川・海岸(約500箇所)	河川の美化及び愛護のための啓発、県民の参加を得て、河川敷及び海浜地の清掃、空き地やゴミの収集、除草作業、予定の植栽等の愛護運動を行う予定。	約15万人	東北地方整備局(山形、新庄、酒田)	県治水協会、県砂防協会、県漁業協同組合、県老人クラブ連合会、県社会福祉協議会、県交通安全協議会、県観光協会、PTA連合会、美しい山形ネットワーク、外
	最上川活用地域活性化推進協議会	最上川フェスタ'03	7月13日	山形県大江町寒河江市中山町	カヌー又はゴムボートによる川下りや子どもを対象とした最上川に関する施設等の見学会、河川愛護イベント等を実施予定。	約2,000人	NHK山形放送局、山形放送局、(株)山形テレビ、山形朝日新聞、山形放送局、山形朝日新聞社、読売新聞山形支局、朝日新聞山形支局、産経新聞、河北新報社山形支局、(株)エフエム山形	かわとびお(東北地方整備局、山形河川国道事務所)美しお(山形県)
関東	荒川下流河川事務所	アウトドア・イベント・イベント・アラカワ2003	7月20日	江戸川区運動公園	河川敷を利用して沿川住民の交流と河川愛護広報活動を実施予定。	約20,000人	沿川2市7区	なし
	常陸河川国道事務所	久慈川・那珂川水系一斉クレーン大作戦	7月13日	久慈川直轄区間那珂川直轄区間	常陸河川国道事務所及び沿川21市町村が主催する河川敷清掃を実施予定。	約25,000人	関東建設弘済会	なし
北陸	二町一ヶ村川の祭典委員会	二町一ヶ村「日橋川・川の祭典」	7月下旬	日橋川	イベントを通じて、子どもたちをはじめ広く地域の住民が参加し、阿賀野川・日橋川と人々の暮らしの関わりを学習し、地域交流の活性化を図る予定。	約20,000人	阿賀野川河川事務所(北陸建設弘済会)関係市町村、塩川町観光協会、津島市、塩川ライオンズクラブ、業協会、企業振興協議会	なし
	金沢河川国道事務所加賀青年協議会	手取川クレーン大作戦	7月中旬	手取川	河川の美化運動を行い、河川環境美化及び河川愛護意識の醸成を図る予定。	約2,000人	沿川市町村、沿川市町村商工会	なし
中部	アクアフェスタ2003開催本部(豊橋河川事務所他)	アクアフェスタ2003	7月27日	豊川周辺	水にまつわる様々なイベントを通じて学習し、豊川周辺の散策を行う予定。	約7,000人	なし	なし
	勢田川七夕大会そそうじ連絡協議会	勢田川七夕大会そそうじ	7月6日	宮川水系勢田川	「勢田川を天の川に」のキャッチフレーズで大掃除を実施予定。	約2,100人	国土交通省 外49団体	なし

平成15年度「森と湖に親しむ旬間」実施要綱

1. 目的

国民に森と湖に親しむ機会を提供することによって、参加者の心身をリフレッシュし、明日への活力を養うとともに、森林やダム、河川等の重要性について、国民の関心を高め、理解を深めることを目的とする。

2. 期間

平成15年7月21日(月)～7月31日(木)

3. 主催

国土交通省、林野庁、都道府県、市町村

4. 後援(予定)

内閣府、水資源開発公団、緑資源公団、日本放送協会、(社)日本新聞協会、(社)日本民間放送連盟

5. 行事等の実施主体等

(1) 実施主体

各地方公共団体、マスコミ関係機関、民間企業等の主催により実施されるよう調整する。

全国行事は、民間企業等の協力を得て「森と湖に親しむ旬間全国行事実行委員会」(会長：北海道知事)の主催により実施する。

(2) 実施場所

全国各地の森林、すべての管理中のダム(国・公団・都道府県)及び可能な限り多くの利水ダムにおいて行うことを目標とする。

また、全国行事として、「森と湖に親しむつどい」を北海道開発局所管の岩尾内ダム及び周辺地域(北海道上川郡朝日町)において実施する。

6. 実施内容等

(1) 行事主体の統一テーマ

『元気な森・ゆたかな水・ふれあいの湖』

水と緑に恵まれた自然豊かな森と湖に集い、自然環境に親しみ、人と人との交流を深め、やすらぎやうるおいを感じてもらうことを通して森と湖の大切さを理解することを目的に、この統一テーマのもと、全国各地の水源地において各種行事、広報活動等を実施する。

(2) 実施内容

ア. 森林、ダム、湖沼の美しさ、快適さを享受

するための行事等の実施

イ. 森林、ダム、湖沼に対する理解、関心を深めるための行事等の実施

ウ. 森と湖のある上流水源地域住民と下流都市地域住民との交流

エ. 広報活動の推進

オ. その他

(3) 実施にあたっての留意事項

ア. 地方整備局と森林管理(分)局、都道府県土木部局と林務部局とがそれぞれ十分連絡の上、水源地域市町村とも調整し、円滑に行事等が実施されるようにすること。

イ. 本旬間に実施される行事に、より多くの国民に参加してもらえよう、下記の統一標語、シンボルマーク等を活用して本旬間の主旨、行事予定について事前に広報を行うこと。

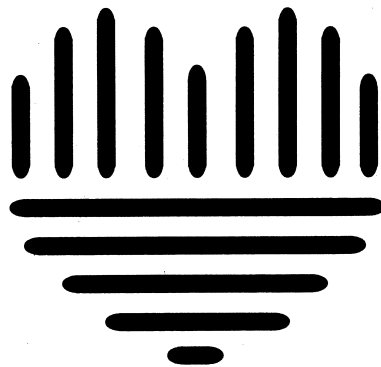
・呼かけ統一標語

ふれあいさわやか 森と湖

もう一つ ふるさと見つけた 森と湖

さわやかな 心のオアシス 森と湖

・統一シンボルマーク



ウ. 旬間のポスターは、地方整備局において作成すること。

7. 協賛

(社)日本河川協会、(財)国土技術研究センター、(財)河川情報センター、(財)河川環境管理財団、(財)日本ダム協会、(社)ダム・堰施設技術協会、(財)ダム技術センター、(財)ダム水源地環境整備センター、全国

治水期成同盟会連合会, (社)全国治水砂防協会, (社)建設広報協議会, 全国建設弘済協議会, (社)国土緑化推進機構, (社)日本治山治水協会, 全国森林組合

連合会, (社)全国森林土木建設業協会, (社)日本林業技術協会, (社)日本林業協会, (社)日本林業土木連合協会, (財)林業土木コンサルタンツ, (財)林野弘済会

<全水連だより>

第55回通常総会開催

平成15年6月5日(木)

新潟市万代島・朱鷺メッセ

全水連は、平成15年6月5日午後1時から、新潟市内の朱鷺メッセを会場に、全国から会員1,800名が参加して、第55回通常総会を開催した。

定刻、川野事務局長による開会の言葉に続き、議長に陣内孝雄全水連会長を選出し、次の議案が審議され、いずれも原案の通り議決承認された。議案審議の修了後、新しく副会長に就任した江藤守國九州治水期成同盟連合会会長(久留米市長)並びに理事に就任した河野順吉北海道治水砂防海岸事業促進同盟会長(深川市長)が紹介され、それぞれ自己紹介の後、陣内会長が全役員を代表して挨拶し総会の幕を閉じた。

審議され議決承認された議案

1. 平成14年度事業報告
2. 平成14年度予算収支決算報告の承認を求める件
3. 平成15年度事業計画の承認を求める件
4. 平成15年度予算の承認を求める件
5. 役員就任について承認を求める件



全国治水期成同盟会
連合会会長
参議院議員

陣内孝雄

本総会におきまして、会長就任のご承認をいただきました陣内でございます。

当連合会の全役員を代表いたしまして、一言ご挨拶を申し上げます。

我が国における河川整備の現況につきまして

は、整備目標の半分程度の進捗率と承知いたしております。このため、毎年各地において水害が発生しており、幾多の人命と財産の多くが失われておりますことは、ご案内のとおりであります。

一方では、流水の減少により、取水制限の措置が採られる河川が多く、また、長期にわたることもあり、地域住民の生活や生産活動に大きな制約を受けております。

我が国のこのような現状に対しましては、治水施設の整備と水資源対策の強力な推進が急務であります。

役員一同、当連合会に課せられております使命の重大さを認識し、河川管理者によって、安全で

安心な国土の構築を目指すこれらの事業が強力に推進されますよう、国会はじめ関係行政機関に対し、強力に要請する等全力を尽くして参る所存であります。

平成15年6月1日付けで新しく就任した役員は次のとおりである。

任 期 平成15年6月1日～平成17年5月31日

役 職	氏 名	公 職	協 会 等 役 職
会 長	陣 内 孝 雄	参 議 院 議 員	
副 会 長	岩 井 國 臣	参 議 院 議 員	
	瀬 戸 孝 則	福 島 市 長	東北直轄河川治水期成同盟会連合会会長
	伊 藤 孝 二 郎	新 潟 県 黒 川 村 長	新潟県河川協会会長
	小 嶋 善 吉	静 岡 市 長	中部直轄河川治水期成同盟会連合会会長
	江 藤 守 國	久 留 米 市 長	九州治水期成同盟連合会会長
事 務 理 事			
理 事	河 野 順 吉	深 川 市 長	北海道治水砂防海岸事業促進同盟会長
	川 井 貞 一	白 石 市 長	宮城県治水協会会長
	目 黒 栄 樹	長 井 市 長	長井ダム建設促進期成同盟会会長
	三 枝 安 茂	春 日 部 市 長	埼玉県河川協会会長代行
	荻 野 幸 和	黒 部 市 長	富山県河川協会会長
	本 田 忠 彦	西 尾 市 長	愛知県河川海岸協会副会長
	酒 井 哲 夫	福 井 市 長	近畿直轄河川治水期成同盟会連合会会長
	林 興 平	鳥 根 県 邑 智 町 長	鳥根県土木協会河川部会評議員
	坂 下 一 朗	香 川 県 内 海 町 長	内海ダム再開建設促進期成会副会長
	榊 田 與 一	大 洲 市 長	四国治水期成同盟連合会副会長
	阿 南 馨	竹 田 市 長	稲葉ダム促進協議会会長
	津 村 重 光	宮 崎 市 長	宮崎県河川協会会長
監 事			
	佐 藤 武 一 郎	宮 城 県 三 本 木 町 長	多田川改修促進期成同盟会会長
	奥 本 務	高 槻 市 長	淀川右岸治水促進期成同盟会長



ご 挨拶

6月30日付けで、全水連を退職することになりました。

会員の皆様には、長年に亘りましてお世話になり、また、ご指導、ご協力を賜りましたことに衷心から厚く御礼申し上げます。

顧みますと、平成2年7月、事務局長に就任してから、現在まで3人の会長に仕えて来ました。平成10年には創立50周年の節目の年を迎え、創立50年史を執筆・編集し発刊いたしました。

また、14年秋には、前全国河川総合開発促進期成同盟会との併合手続きなど、結果の良否は別としましても、未経験な分野での仕事を成し遂げましたことは、どなたかの言葉にありましたように、「自分を褒めてあげたい。」という気持ちであります。

会員の皆様のご健勝をお祈り申し上げます、これまでの御礼と退職のご挨拶とさせていただきます。

全国治水期成同盟会連合会

事務局長 川 野 正 隆